

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	教育委員会総務課		■担当係	施設係
■評価事業名称	小中学校PCB廃棄処分事業			
■評価事業コード	400100 - 111	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	04 美しい環境と心を守り育てるまちづくり		
	■基本施策	01 地球環境保全の推進		
	■施策	02 環境監視体制の強化と公害の防止		
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策	
■法令の根拠区分	法令の実施義務(自治事務)			
■法令等の名称	ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法			
■関連計画の名称				
■事業の概要	絶縁油中に有害物質「PCB」が含まれている電気機器の適正な廃棄処理。絶縁油中に有害物質「PCB」が含まれている電気機器を、北海道室蘭市にある専用処理施設まで収集運搬し、廃棄処理する。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	小学校PCB廃棄処分事業	PCB廃棄物(コンデンサ、トランス等)		事業なし
02	中学校PCB廃棄処分事業	PCB廃棄物(コンデンサ、トランス等)		事業なし

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費		1,749			
人件費		573			
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト		2,322			

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	PBC廃棄物の廃棄処分		高濃度3台			H22年度中に、処分義務のある高濃度PCB廃棄物はすべてを処分した。

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

02	PCB廃棄物の廃棄処分		低濃度0台			低濃度のPCB廃棄物については、国により処理方法が検討されているが、現在のところは保管・届出義務があるのみで処分できない。(国の処分方針が決まっていない。)
04	PCB廃棄物1台当たりコスト		775千円			

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

県の方針で平成26年度末までに全てのPCBを処分完了することになっているが、処理体制が確立されておらず達成困難な状況である。

問題点・課題等

低濃度のPCB廃棄物については、国により処理方法が検討されているが、現在のところ国の処理体制が確立されていない。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

補足説明

国県の動向を注視しながら計画的に処理をすすめる必要がある。